

真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第 25 号

平成29年(2017年)
4月1日 発行



風に身をまかせ（高槻市・芥川桜堤公園）

「お誕生日おめでとう」。私たちは普段このフレーズを当たり前のように使いますが、ではなぜ誕生日はめでたいのでしょうか。

お釈迦さまの例え話。大地の砂を手にくすわれ、大地の砂の数があらゆるいのちあるものの数とするならば、手の平にある砂の数がその中で人間としてのち恵まれた者の数なのだとおっしゃいます。

さらに手の平の砂から、一本の指の爪に砂を載せられ、爪の上の砂の数が、人間の中で仏さまのみ教えにご縁をいただいた者の数なのだとおっしゃいました。

このお話は、人間として生まれてくること、さらにその中で仏法に出遇わせていただくことの「有り難さ」を教えてくれています。

「お誕生日有り難う」といっただけ時、本当の意味で「お誕生日おめでとう」と言わせていただけるのかも知れません。

四月八日はお釈迦さまの誕生日。このご法縁に、改めて我が身が問われてきます。

（門川崇志）

と う ひ が ん 到 彼 岸



～大阪別院
彼岸会法話より～

あしな あきら
輪番 葦名 彰

病気になってよかった

ご門徒さんから「先日ガン告知を受け、余命半年という診断でした。だから来年の母の法事を急いで勤めたい」と申し出がありました。急遽法事の段取りが始まり、日程の打合せで、疎遠になっていた妹さんに電話をされました。そこで「実は私も末期ガンで余命一年もない。お兄さん、この病気ほど

周りの人たちに気遣いをさせて心配かけることはないね」と思わぬ告白を受けられます。妹さんの言葉に強い衝撃を受け、ご門徒さん自身も家族や知り合いに大変な心配をかけていたことに気がつかれました。

主治医からのガン告知の後、ご家族の方々は皆、張り詰めた気持ちで生活をされていましたが、妹さんの言葉に気づかされたことを奥様に感謝の言葉として伝えられました。すると互いに気遣っていた緊張感から一気に解放され、ご家族で号泣されたそうです。

「ごえんさん、この病気になったから疎遠であった妹とも話せたし、この家族と過ごしてきたことが本当に有り難いとあらためて思えました。今では病気になってよかったと思います」と話してくださいました。法事では久々に親戚が集い、「亡くなった母が皆を呼び寄せてくれたんやなあ」と喜び合って

おられました。

すべてに意味がある

定年退職して、これからゆっくりと生活を送ろうと思っておられた矢先のことでした。一家の主として家族を守り支えることが当然のことと信じていても、それが病気によりままならなくなる。余命幾ばくもないという宣告は、余りにも酷なことであつたでしょう。

しかし、ご門徒さんは病気になったことで、家族や周りの方々に心配をかけずにはおられないのが「私」だと気づかれます。辛く悲しいことにも真実の自己を知らせる深い意味があるのだと聴かせていただきました。

(平成28年9月25日勤修の

大阪別院彼岸会法話より)



如^{によ}是^ぜ我^が聞^{もん}

仏法聞き難し、今すでに聞く

大阪教区

霊松寺

脇坂義仁^{わきさか よしひと}師



平成28年7月16日、高照寺（堺市北区・隅谷俊紀住職）にて「大悲の会」後援の布教大会が開催され、一席目で脇坂師が「仏法聞き難し、今すでに聞く」をテーマにお話しされました。

取り違えて

最近になるまで「仏法聞き難し」の意味を取り違えていたとおっしゃった脇坂師。

「釈尊が誕生しなければ仏法を聞くことができなかった。誕生しても国王という地位を

捨てて出家しなければ、出家してもさとりを開かなければ、さとりを開いても釈尊がそれを伝えなければ、釈尊が伝えなくても仏弟子たちがさらに伝えなければ、仏法を聞くことができなかった」

このように釈尊の誕生からそれが伝えられたという単なる昔話として「仏法聞き難し」をとらえていたのだと。

その背景には、お寺で生まれ育ち、仏法を聞く機会がたくさんあり、今の時代、仏法に出遇うことは難しいことでは

はないと理解されていたからでした。

しかし、一ヶ月前に亡くなられた親戚のおじ様の死を通して、そうではなかったのだと、あらためて「仏法聞き難し」という言葉と向き合うことができたそうです。

ご縁によって

「おじはお寺の行事に積極的にかかわってくれました。その姿を通して、法要にたずさわることの意義や喜びを知りました」

「大学生になるまではお寺から逃げ出したいと思うこともあったので、おじがいなければ、この場にもいなかったと思います。そのおじの死を通して、仏法と向き合うことができていなかった私が、教えに出遇わせていただいていたのだと初めて気づかされ、そしてそのことに感謝の気持ちを持つことができました」と話されていました。

お話を通して

今までは、当たり前のように仏法と出遇うことができるのだと思っていた自らの思いが打ち破られ、ご縁によって聞き難い仏法を「今すでに聞く」ことができているのだという歓びを知らされたのだと聞かせていただきました。

（隅谷俊紀 記）

大阪府民の森 ほしだ園地



星のブランコ



ハンバーガー型の巨石



クライミングウォール

【アクセス】

- ・京阪交野線「私市駅」より徒歩 40 分
- ・第二京阪道路「交野南IC」より車で 10 分

クライミングウォール

高さ16・5mで3面の人口壁からなるクラ

(寿栄松正頭)

ほしだ園地は大阪府の東部、交野市にあり、広大な自然に囲まれた山岳公園です。園地内には、絶滅危惧種に指定されているハヤブサが雌雄一対生息しています。ハヤブサは縄張り意識が強い鳥で、仲間を作ることはないそうです。人が立ち入る場所に生息しているのは非常に珍しく大切に見守られています。平成26年春には雛がかえったそうです。またハイキングコースが設けられ、「星のブランコ」という長さ280m、高さ50mの吊り橋や、ハンバーガー型の巨石など、見所が点在します。

イミングウォール(有料)は、平成9年なみや国体の山岳競技の公式競技場となりました。垂直以上の傾斜をもつ壁を、自分の力のみで登っていきます。壁に挑戦する人を見て圧倒されました。休日には近畿各地からの利用で賑わっています。大自然で過ごす静かな時間は、心と体をリフレッシュしてくれます。一日、山の中を散策し、森林浴や水辺で過ごす時間は普段の生活では味わえない、爽やかな汗と癒やしを感じることができます。ただ園地内には自動販売機が1カ所しかありませんので、各自食事や飲み物の用意が必要です。

ごえんさんを訪ねて

こうふくじ

光福寺（大阪市西成区）

たまで きょうじゅん

玉出恭順 住職



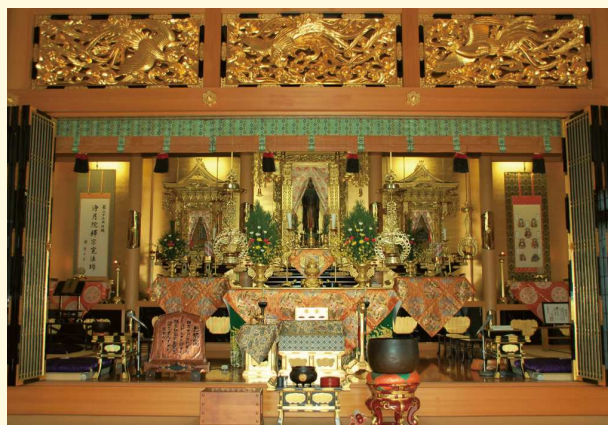
吉祥山光福寺は天台宗の寺院として住吉大社近辺に創建されましたが、当時、寺社のなかった勝間村の要請で現在の場所に移りました。元応元（1319）年に佛光寺中興の祖、了源上人に帰依し真宗に改めました。

平成7年阪神淡路大震災で本堂の屋根が損壊。ご門徒の多大なご尽力により平成10年、現在の本堂を落慶することができました。

警視庁機動隊

住職は島根県益田市の順念寺の6人兄弟の末っ子として生を受けました。高校卒業後、警視庁に採用され、警察学校を卒業、交番勤務、そして昭和43年に機動隊の特科車両隊に入隊しました。

当時は学生運動が盛んで、東京大学や早稲田大学などへの出勤が多かったそうです。当時の思い出話を聞きますと、「田舎から東京に出られて



本堂内陣

嬉しかったことと、夜中の国会警備で人や車などの景観に変化がない上に、長時間立っていなければいけなかったのが辛かった」ということでした。

苦勞したこと

玉出家三女とのご縁により昭和48年10月に入寺することが決まりました。ところが寺のことをきちんと教えてもらえると頼りにしていた前住

職が同年8月、51歳で急死したため、大きな不安を抱えたままお寺での生活が始まりました。

実際、ご門徒のお宅がわからないため地図で探しながらのお参り、お寺に来られたご門徒のお名前がわからない、各ご門徒の家族、親族の繋がりがわからないなどたくさん苦勞があったようです。

そんな中、ある総代さまがご門徒の家や親戚関係など、たくさんの方々とを教えてくださいましたことが本当に有り難く、支えになったと話してくれました。

最後に「息子が継職したらまた取材に来てください」と編集メンバーへのメッセージを預かりました。

（玉出宗順）

■光福寺（こうふくじ）

〒557-0045

大阪市西成区玉出西2-2-18

電話 06-6651-1544

Fax 06-6651-1548

大悲トピックス

■佛青懇和会・報恩講研修会開催

2月5日、大阪別院にて佛青懇和会の報恩講研修会が開催されました。

まず、寺田宗隆師（報恩寺）より、基本的な作法から、報恩講に関する入堂や登壇作法まで、詳しく教えていただきました。

そして、参加者11名は本堂にて行譜正信偈三首引をお勤めし、その後、法中室にて華名彰輪番よりご法話をたまわりました。

参加者の眼差しは真剣そのものでした。

（佛青懇和会会長

寿栄松正顕）



㊦ 寺田師による研修 ㊧ 本堂にてお勤め ㊨ 華名師の法話

■「大悲の会」が後援する布教大会を開催

1月14日、仏願寺様（大阪市東住吉区・藤井良丸住職）にて「大悲の会」がコーディネートする2回目の布教大会が開催されました。

大阪教区所属の布教使である門川崇志師（浄方寺・大阪市北区）、寺田宗隆師（報恩寺・堺市東区）、佐々木太一師（常光寺・大阪市淀川区）の三名からご法話をたまわりました。

冬の嵐のような天候にもかかわらず、たくさんのご門徒様がお聴聞にきてくださいました。（大悲の会一同）

■懇志御礼

滋賀県大津市 専光寺様



布教大会終了後、ホッとひと息の三師。左から、寺田師、佐々木師、門川師

燦ホールディングス グループ

なごみ庵

き・た・は・ま

KITAHAMA

法要料理

希望の場所までお届けします。

- 四條畷店 ☎0743-78-7521
- 瓜破店 ☎06-6769-0140
- 伊丹店 ☎072-773-7531

※2012年5月現在 ㊦㊧㊨

御本山 近 用達

株式会社 川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055

（〒600-8344）京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367(代)

FAX (075) 371-5088

- 大正三年創業の信頼と実績 -

石留石材株式会社

各種石塔・石仏・記念碑

寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯・PHS OK

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂 2丁目 9番 29号

ご寺院、お役に立てる商品が、
きっと見つかる情報誌！

寺がある、法が活きる、寺の友社。

株式 会社 寺の友社

〒611-0002 京都府宇治市木幡平尾54番地の2

TEL 0120-7676-39 FAX 0120-7676-29

http://www.teratomo.jp

ご希望の、ご寺院には、無料カタログをお送りします。

（株）小林造園

代表取締役：小林正典

〒603-8442

京都市北区西野山東町 36-1

tel 075-491-4256

fax 075-491-9432

燦ホールディングス グループ

まごころ葬儀を創造する。

公益社

公益社 ご葬儀相談センター（24時間・365日受付、通話料無料・携帯電話OK。）

0120-567-701

※2012年5月現在 ㊦㊧㊨

だいひ 絵日記

- 1月 2日(月) 大阪別院修正会
 1月13日(金) 大阪教区新年互礼会
 1月14日(土) 大悲の会後援・布教大会(仏願寺にて) ①
 1月17日(火) 大悲の会編集会議(総会・第25号読み合わせ)
 2月 5日(日) 佛青懇和会研修会(報恩講研修会) ②
 2月16日(木) 大悲の会編集会議(第25号読み合わせ)
 3月14日(火) さつき会研修会(「飛鳥」まほろばをたずねて)
 3月17日(金) 大阪別院彼岸会(布教:玉出宗順 師)
 3月20日(月) 大阪別院彼岸会(布教:隅谷俊紀 師)
 3月23日(木) 大阪別院彼岸会(布教:葦名 彰 師)
 3月24日(金) 大悲の会編集会議(第25号発送作業・第26号内容検討)
 (さつき会=坊守会、佛青懇和会=青年会)



東 京 石
 和 光 庵
 慶事、仏事、各種会合等の際は、
 和光庵の仕出し料理を
 御利用下さい。
 株式会社 和光庵
 〒543-0073 大阪市天王寺区生玉町3-32
 TEL06-6774-8090 www.wakouan.co.jp
 西天満店 結心(ゆいごころ)
 〒530-0047 大阪市北区西天満4-10-5-1 階
 TEL06-6809-6311 www.yuigokoro.com

株式会社 モントラベル
 〒550-0013
 大阪市西区新町1-8-1 行成ビル
 TEL. 06-6531-1344
 FAX. 06-6531-1346
 http://www.monto.co.jp
 仏跡参拝ならお任せください!

浜屋は関西最大級の
 お仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の
 専門店です。
 やすらぎの 世界を創る
 通話料無料/浜屋姫路本社フリーダイヤル
 お問い合わせ
 お申し込みは 0120-1616-94
 ●受付時間/午前10時~午後6時30分

協 賛
 法 友 会
 さ つ き 会
 佛 青 懇 和 会

「大悲の会」御用達
 鮪 旬魚菜 さぐち
 地下鉄御堂筋線あびこ駅前
 tel. 06-6696-6880
 〒558-0011 大阪市住吉区荻田 7-5-20
 さつきマンション 1F

本山佛光寺 御用達
 石の総合メーカー
 株式会社 石留石材
 ホームページ
 http://www.ishitome.co.jp
 本社:京都市中京区堀川御池角
 TEL 075-841-1149 FAX 075-812-5826



どなた様でもお参りいただけます

法要・法話会のご案内



本山佛光寺茶所布教

毎日午前 7 時半

※大阪教区布教使の担当は下記の通りです

6 月中旬 葦名 彰 師 (妙圓寺)

大阪教区寺院で開催される法話会

◎浄方寺 (大阪市北区・06-6371-9040)

4 月 15 日 (土) 午後 2 時

「聞法会」法話：日野智深 師

◎正念寺 (大阪市東住吉区・06-6714-3109)

6 月 21 日 (水) 午後 3 時

「聞法会」法話：近藤正嗣 師

瀬戸川豊 師

◎高照寺 (堺市北区・072-252-2122)

5 月 20 日 (土) 午後 3 時

「聞法の集い」法話：玉出宗順 師

※詳細は各寺院にお問い合わせください



「大悲の会」後援・布教大会

報恩寺 (堺市東区・072-285-1005)

5 月 8 日 (月) 午後 2 時

法話 (第一席)：玉出宗順 師

法話 (第二席)：行友伸二 師

法話 (第三席)：藤井良丸 師

編集秘話

今回、原稿担当が「ごえんさんを訪ねて」になり、父親についての原稿を書くことになりました。当初「インタビューするの嫌やな」と思っていました。しかし取材をしてみて機動隊にいた頃のエピソードや父親が抱いていた気持ちを初めて知りました。今は有り難いきっかけを頂いたなと思っています。(玉出)

編集後記

子が親を取材する。今回の「ごえんさんを訪ねて」は斬新であったと大悲の会一同感じています。今後、親が子を取材することもあるかも……。★3 回目となる大悲の会后援布教大会が報恩寺様 (堺市東区) で開催されます。この布教大会は、大阪教区第六組の組内研修会を兼ねています。皆さま、是非ともご聴聞ください。(隅谷)

大阪教区・別院だより『大悲』第 25 号 (冬号)

平成 29 年 (2017 年) 4 月 1 日発行 (発行部数 2200 部)

発行：大悲の会

事務所：佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区荻田 6-11-24 電話 06-6691-1362

郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会

長田 譲 (会長)

隅谷俊紀 (副会長)

寿栄松正顕 (会計)

玉出宗順 (会計)

門川崇志 (監事)

佐々木太一

葦名 彰